

齋江家の青銅製品

(上古川)

青銅製品の代表的なものは、梵鐘^{ぼんしょう}である。
齋江家に残る文書などから、約40口^{くち}以上
鑄造^{ちゅうぞう}していたことが判る。

その大部分は、太平洋戦争に供出され今はない。

(1) 梵鐘（現存する物）は、次のとおりである。

- ① 大智明権現^{だい ち みょうごんげん}（大山寺・大山町）
文化10年3月製（1813）
- ② 山田八幡宮（北条八幡宮・北栄町）
安永2年9月（1773）
- ③ 花蔵大権現^{はなくらだいごんげん}（笏賀神社・三朝町）^{つ が}
天保13年7月（1842）
- ④ 一畑寺（一畑薬師・島根県出雲市）
明治19年4月（1886）



打吹公園にあった忠魂碑

(2) 鳥居・記念碑

打吹公園にあった忠魂碑、名和神社鳥居などがある。供出により今はない。名和神社の鳥居は明治38年（1905）製で、当時青銅製では日本一と言われている。



鰐 口



鑿子と撥^{ケイスとバテ}



(3) 神仏具

念仏鐘^{がね}、雲版^{うんぱん}、神鈴^{※わにぐち}、鰐口^{けいす}、鑿子など

(注)

鰐口：仏堂・社殿正面の軒下につるし、参拝者が綱を振って鳴らす大きく平たい音響具